

大正五年

茨城縣統計書 第二編

學事ノ部

管内學事ノ狀況

總 說

本年()度ニ於ケル本縣管内學事ノ狀況ヲ約言スレハ從來ノ方針ニヨリ教育上諸般ノ施設經營ニ努メ小學教育ヨリ中等教育、師範教育、實業教育ニ至ルマテ執モ教授訓練、體育、衛生等ニ重キヲ置キ特ニ精神的教養ニ關シテハ最モ力ヲ致シ以テ將來任ノ重ヲ負擔スヘキ健全ナル國民ヲ養成センコトヲ期セリ而シテ益々優良ナル教員ノ選擇任用ニ留意シ各種ノ講習會ヲ開催シテ教員ノ學力ヲ補充シ且務メテ教員ノ優遇ノ途ヲ講シ俸給ノ増額ヲ圖レリ又學校教育ト實業界トノ連絡ニ就キテモ一層其ノ關係ヲ密接ナラシメ彼此相助ケ以テ産業ノ發達ヲ圖リ益々良好ノ成績ヲ舉ケンコトニ努メ又青年團ヲ指導獎勵シ補習教育ノ普及ヲ圖リ教育ノ基礎ヲ益々鞏固ナラシメンコトヲ期スル等專ラ各般ノ事項ニ亘リ相應ナル施設經營ニ努メタリ

以上ノ外東亞同文會ノ設立ニ係ル上海東亞同文書院ヘ派遣留學セシメタル者三名ニシテ現ニ在學中ノ者縣費生七名、準公費生一名ナリ而シテ本年度ノ卒業生ハ二名ニシテ從來ノ者ヲ合セ二十八名ナリ

其他郡視學及市學務擔任書記ヲ會同シテ學事施設上ノ事項ヲ指示及諮問シ郡市長會議ニ於テモ學事施設上監督上等ニ就キ意見ヲ徵シ或ハ協議ヲナサシメタリ學事ニ關シ令達シタルモノ縣令四件訓令四件告示十一件ニシテ其ノ要領ヲ摘記スレハ左ノ如シ

縣 令

- 一 高等女學校學則中改正(縣大正三年第六號) 一月一日
- 一 農學校規則中改正(縣大正三年第六號) 三月十五日
- 一 農業教員養成科規則(縣大正三年第六號) 三月十五日
- 一 師範學校卒業生服務細則(縣大正三年第六號) 三月二十六日

訓 令

- 一 學校衛生技師職務規定(訓大正五年第七號) 二月三日
- 一 群馬縣市町村立小學校教員退隱料等證書檢閱取扱ノ件(訓大正五年第一號) 四月六日
- 一 立太子禮式ニ關スル件(訓大正五年第十號) 九月九日
- 一 行幸啓ノ節學校生徒敬禮法(訓大正五年第十號) 九月十九日

告 示

- 一 東亞同文書院準公費生ニ關スル規程中改正(告大示第五二年二六八月號十九日)
- 一 小學校教員夏期講習會ニ關スル件(告大示第五二年二六九月號十九日)
- 一 同上ノ件(告大示第五二年三六號二十日)
- 一 水戸市下市男子女子小學校合併位置指定ノ件(告大示第五二年四〇號二十六日)
- 一 中等教員講習會ニ關スル件(告大示第五二年五〇號三十日)
- 一 巡回書庫開催ノ件(告大示第五二年五七號三十一日)
- 一 尋常小學校准教員免許狀無効ノ件(告大示第五二年五七號三十一日)
- 一 東亞同文書院留學生規程中改正(告大示第六一年一三號月〇二日)
- 一 縣立土浦中學校生徒定員變更ノ件(告大示第六一年一三號月〇二日)
- 一 小學校教員講習會ノ件(告大示第六一年一三號月〇二日)
- 一 無試驗檢定出願者身體檢査醫死ノ件(告大示第六一年一三號月〇二日)

學 齡 兒 童

學齡兒童總數二十一萬七千三百五十三人、内男十一萬三千六百十五人、女十萬三千七百三十八人ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ男三千三百五十八人女三千七百五十三人ノ増加ナリ而シテ就學兒童總數十八萬三千二百四人ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ男二千四百十一人、女二千七百四十一人ノ増加ナリ就學ノ始期ニ達シタル學齡兒童ニ對スル就學歩合ハ男九十九人六分、女九十九人一分一厘、男女平均九十九人三分七厘ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ男ニ於テ六厘、女ニ於テ三分三厘、男女平均ニ於テ一分九厘孰モ増加シタリ就學督勵ニ關シテハ學齡兒童保護會ヲ活動セシメ又貧困兒童ニ對シテハ特殊ノ方法ニヨリ教授ヲナサシメタリ就學猶豫者、就學免除者ハ孰モ疾病多數ニシテ貧困者ハ極メテ少數ナリ

小 學 校

市町村立尋常小學校二百二十六校、分教場七校、尋常高等小學校三百四十一校、尋常科分教場九十六校、高等小學校八校、計六百七十八校ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ總數ニ於テ五校ヲ減少セリ而シテ學校ノ種類ニヨリ其ノ増減ヲ比較スレハ尋常小學校ニ在リテハ本校十校分教場一校ヲ減シ尋常高等小學校ニ在リテハ本校二校、分教場四校ヲ増加シタルニヨル而シテ校舍ノ新築、改築、増築等ヲナシ教室ノ不足ナカラシムルハ勿論設備上ニ於テモ漸次改善ヲ期シツ、アリ

市町村立小學校ノ學級ハ尋常科三千百五、高等科五百二十、同補習科六、計五百二十六、其ノ總計三千六百三十一學級ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ尋常科八十九、高等科十九、補習科一學級ヲ孰モ増加シタリ而シテ其ノ編制タル尋常科ハ單級ノモノヨリ二十七學級ノモノニ至ル其ノ内最モ多キハ六學級ニシテ三學級ノモノ之ニ亞キ高等科ハ單級ノモノヨリ九學級ノモノニ至ル其ノ内最モ多キハ單級ニシテ二學級ノモノ之ニ亞ケリ

學校配置ノ狀況ハ大体ニ於テ尋常小學校ハ適當ナレトモ高等小學校ニ在リテハ未タ普及セサルモノアリ然レトモ年々尋常小學校ニ高等科併置ヲナスモノ漸次増加セリ

補習科ノ設ケアル學校ハ尋常高等小學校五校、高等小學校一校、計六校ニシテ前年度ニ比スレハ一校増加セリ

市町村立尋常小學校ニ於テ手工ヲ加ヘ課スルモノ本校二百一校、分教場二十六校、高等小學校ニ於テハ手工、農業、商標ノ一科又ハ二科ヲ加ヘ課スルモノ三百三十六校ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ加設科目ヲ課スル學校三十三校ヲ増加セリ

市町村立尋常小學校ニ於テ特別ノ事情ノ爲メ授業科ヲ徴收スルモノハ尋常小學校三校尋常高等小學校尋常科二校計五校ニシテ其ノ兒童數ハ四千七百七十八人ナリ之ヲ前年度ニ比スレハ學校數ハ一校減少シタルモ兒童數二百二十八人ノ増加ナリ

市町村立小學校本科正教員ヲ各學級ニ對照スレハ尋常科ニ九百三十二人、高等科及同補習科ニ三十四人ノ不足ニ當レリ之レ其ノ供給ニ關シテハ多年企劃スル所アルモ未タ好結果ヲ見ルニ至ラサルハ遺憾ノ次第ニシテ准教員若ハ代用教員ヲ以テ其ノ不足ヲ補充シ居ルノ狀態ニシテ目下ノ狀況止ムヲ得サル所ナリ

市町村立小學校正教員及准教員ノ數ヲ月俸額ニ依リ區別スレハ五圓以上十圓未滿ノ者百二十九人、十圓以上十五圓未滿ノ者八百九十四人、十五圓以上二十圓未滿ノ者八百四十二人、二十圓以上二十五圓未滿ノ者千七百七人、二十五圓以上三十圓未滿ノ者百六十四人、三十圓以上三十五圓未滿ノ者百七十二人、三十五圓以上四十圓未滿ノ者八十三人、四十圓以上四十五圓未滿ノ者四十人、四十五圓以上五十圓未滿ノ者三人、五十圓以上五十五圓未滿ノ者十二人、五十五圓以上ノ者七人ニシテ上級ノ者年々増加セリ又月俸平均額ヲ以テ前年度ニ比スレハ尋常小學校ニ於テハ本科正教員ノ女准教員ノ女ハ稍々減少シタレトモ他ハ總テ多少ノ増加ニシテ其ノ待遇良好トナレリ然レトモ未タ固ヨリ十分ナリト云フ能ハテラ以テ經濟ノ許ス限リ増額ヲ圖リ一面ニハ住宅ノ施設、住宅料ノ支給等ヲサシメ又年功加俸特別加俸増額等ヲ專ラ其ノ圍範ヲ擴メ優遇ヲナシメタリ

幼稚園

幼稚園ノ數ハ公立四、私立四、計八ニシテ前年度ニ比シ一増加シタルハ本年度ニ於テ廢止シタルモノ一設置シタルモノ二アルニヨル而シテ其ノ設備ハ概ネ備ハレリ保姆ノ總數ハ十八人、外ニ兼務三人アリ幼兒ハ男三百六十三人、女三百七十五人、計七百三十八人ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ保姆一人、幼兒五十四人ヲ増加セリ又本年度保育滿期ノ者男二百五十四人、女二百二十八人、計四百八十二人ニシテ本年度入園ノ者ハ男三百十九人、女三百三十二人、計六百五十一人ナリ

盲啞學校

盲啞學校ハ私立一校ニシテ諸般ノ設備略ホ備ハレリ教員ノ總數七人、生徒ハ盲生十九人、啞生十二人ニシテ本年度ノ卒業生ハ盲生三人、啞生一人ナリ又本年度入學者ハ盲生三人ニシテ生徒ノ失官原因ハ盲生生來七人、血膜炎三人、角膜葡萄腫一人、風眼一人、遺傳梅毒四人、麻疹一人、近眼不正二人ナリ啞生生來十二人ナリ

師 範 學 校

師範學校ハ二校ニシテ其ノ設備ハ略ホ備ハレリ
有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別ハ次ノ如シ(表中×印ハ兼務ノ者)

教員免許狀受得ノ事由別	師 範 學 校	女 子 師 範 學 校		
		男	女	計
高等師範學校卒業	10	3	—	3
女子高等師範學校卒業	—	1	5	6
農業教員養成所卒業	1	—	—	—
音樂學校卒業	1	—	1	1
高等商業學校卒業	1	—	—	—
經歷ニ依リ無試験檢定ノ者	1	—	—	—
試験檢定ノ者	7	3	—	3
	1	1	—	1
計	20	6	6	12
	2	2	—	2

生徒訓育ニ就テハ大體從來ノ方法ヲ繼承シ著々其ノ趣旨ノ貫徹ニ努メ常ニ教育者タルノ品格ヲ修得セシメ兼テ體育ノ獎勵ニ一層ノ注意ヲ用キタリ
生徒ノ學業ニ就テハ専ラ學力ノ充實ニ注意シ常ニ自學自習ヲ怠ラサラシムル様努メ其ノ成績漸次増進シフ、アリ
生徒修學旅行ハ地理、歴史、其他實地研究ノ目的ヲ以テ第三、四學年生徒ハ京阪、伊勢方面ニ旅行ヲナシ孰モ豫定ノ目的ヲ達シ生徒訓練上少ナカラサル効果ヲ收メ得タリ

本年度本科入學ノ父兄ノ職業別ハ次ノ如シ

種 別	師 範 學 校		女 子 師 範 學 校	
	第 一 部	第 二 部	第 一 部	第 二 部
農	46	16	10	5
工	—	—	—	—
商	2	1	4	1
公 務 及 自 由	15	7	18	11
其 他	2	—	1	3
計	65	24	33	20

本年度卒業生ノ數ハ本科第一部九十一人、第二部四十一人ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ第一部ニ於テ六人ヲ増シ第二部ニ於テ五人ヲ減シタリ而シテ年度内ニ於テ第一部、第二部各一人ヲ除クノ外ハ全部小學校ニ就職シタリ
 附属小學校ハ二校ニシテ其ノ設備ハ前年度ト大差ナク兒童教育ニ關シテハ從來ノ主義方針ヲ繼續シカメテ自學自修ノ精神ヲ涵養スルコトニ意ヲ注キ學校ト家庭トノ連絡ヲ計リ諸般ノ成績漸次良好ニ向ヘリ
 師範學校ニハ尋常小學校本科正教員養成ノ爲ニ講習科ヲ設ケ其ノ講習期間ハ二ケ年ニシテ講習員二十九人アリ

中 學 校

中學校ハ縣立六校ニシテ其ノ設備ハ前年度ト大差ナシ
 有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別ハ次ノ如シ (表中×ハ兼務ノ者)

教員免許狀受得ノ事由別	中 學 校										
	戸	水	太	田	土	浦	龍ヶ崎	下	妻	水海道	計
帝國大學卒業		2	×	1			1		1	1	6
高等師範學校卒業		—		4	×	6	6	×	2	2	1
臨時教員養成所卒業		1		—		1	—		1	—	3
高等中學校卒業		—		1		—	—		—	1	2
專門學校卒業		1		3		4	3		4	4	19
其他ノ學校卒業		1		1		—	1		1	2	6
歷經ニ依リ無試験檢定ノ者		1		—		—	—		—	—	1
試験檢定ノ者		18		7		6	6		4	4	45
計		24	×	17	×	16	17	×	13	14	101

生徒訓育ニ就テハ教育勅語、戊申詔書ノ御趣旨ヲ奉體シ品性ノ陶冶ニ努メ質實剛健ノ氣風ヲ養成センコトニ力ヲ効セリ學業成績ハ教授法ノ改善進歩ヲ圖リ且日課ノ豫習復習ヲ督勵セシ結果勸勉勵精ノ風年々増進シ生徒ノ學力ハ未タ十分ナラスト雖漸次向上セルヲ認ム

生徒修學旅行ニ關シテハ第五學年生徒ハ東京、神奈川、京阪、伊勢、仙臺、山形、栃木方面ニ第四年生徒ハ神奈川、京阪、伊勢方面ヘ地理、歴史等研究ノ目的ヲ以テ旅行シ執モ相當ノ效果ヲ得タリ

本年度入學志願者ノ數ハ本科千三百七十一人、補習科十四人計千三百八十五人ニシテ内入學ヲ許可セシ者本科六百九十八人、補習科十四人ナリ

本年度入學者父兄ノ職業別ハ次ノ如シ (表中×ハ補習科ニ係ルモノ)

種別	中 學 校							計
	水 戸	太 田	土 浦	龍ヶ崎	下 妻	水 海 道		
農 業	×	49 3	69	78	66	66	58	× 386 3
工 業		2	8	—	—	1	1	12
商 業	×	39 4	17	15	18	18	15	× 122 4
公 務 及 自 由 業	×	62 5	18	16	15	20	19	× 150 5
其 他	×	19 2	—	3	1	3	2	× 28 2
計	×	171 14	112	112	100	108	95	× 698 14

補習科ノ設ケアル學校ハ一校ニシテ入學者ノ目的ハ上級學校入學受験準備ニアルヲ以テ自然出席不規則ニ流レ易シ故ニ其ノ出席常ナラサル者ニ對シテハ保證人ニ警告ヲ與ヘ其ノ出席ヲ督促セシメテ漸次良好トナレリ然レトモ數ヶ月ニシテ半途退學シ修了シタルモノナシ

高等女學校

高等女學校ハ縣立二校、實科高等女學校ハ郡立一校、町立二校、町村學校組合立一校、計四校ニシテ前年度ニ比シ一校増シタルハ町ニ於テ設置シタルモノアルニヨル其ノ設備ハ郡町村ノ分ハ縣立ニ比スレハ遜色アルヲ免レサルモ漸ヲ逐ヒ完備ニ近キツ、アリ

有資格教員ノ教員免許狀受得ノ事由別ハ次ノ如シ (表中*ハ兼務、×ハ女子)

教員免許狀受得ノ事由別	高等女學校		實 科 高 等 女 學 校					計
	水 戸	土 浦	眞 壁	太 田	石 岡	御 城		
帝 國 大 學 卒 業	1	—	—	—	—	—	1	
高 等 師 範 學 校 卒 業	1	1	—	—	—	—	2	
女 子 高 等 師 範 學 校 卒 業	* 1	* 1	—	—	—	—	* 2	
音 樂 學 校 卒 業	×	×	×	×	×	×	×	
其 他 ノ 學 校 卒 業	×	×	×	×	×	×	×	
試 驗 檢 定 ノ 者	×	×	×	×	×	×	×	
計	7 1 ×	7 1 ×	×	2 ×	1 ×	1 ×	3 * ×	

生徒訓育ニ關シテハ教育勅語ノ御趣旨ニ基キ國民道德ノ養成ニ注意シ婦德ノ涵養ニ力ヲ効シ實際的知識技能ヲ修得スルニ努メタル結果生徒ノ學業操行等漸次善良ニ向ヒツ、アリ本年度入學者父兄ノ職業別ハ次ノ如シ (表中×ハ實科ニ係ルモノ)

種別	高等女學校		實科高等女學校						計
	水戸	土浦	眞壁	太田	石岡	御城			
農業	× 18	38	29	23	18	39	×	56 139	
工業	×	2	1	4	2	1	×	5 9	
商務及自由業	×	36	14	12	18	6	×	64 74	
公務及自由業	×	17	5	5	9	2	×	60 31	
其他	×	2	1	8	4	—	×	12 15	
計	×	97	50	52	51	48	×	197 268	

本表ノ外眞壁郡立實科高等女學校ニハ第二學年ニ係ルモノ農業三、公務及自由業四、計七、石岡實科高等女學校ニハ第二學年ニ係ルモノ商業一、御城實科高等女學校ニハ第三學年ニ係ルモノ農業二、商業四、公務及自由業一計三三アリ

實業學校

甲種程度ノ農學校ハ縣立一校ニシテ其設備ハ前年度ト大差ナシ
乙種程度ノ農學校ハ郡立三校、町立一校、村立三校、町村組合立三校、町村學校組合立一校、計十一校ニシテ其ノ設備ハ未タ十分ナラサルモノアルモ相當ノ施設ヲナサシメツ、アレハ漸次完備スルナラン

甲種農學校ノ教員ハ有資格者十二人、無資格者三人アリ有資格教員ノ資格ヲ調査スレハ帝國大學分科大學卒業ノ者一人、文部大臣ノ指定シタル者九人文部大臣ノ認可シタル者二人ナリ

乙種農學校ノ教員ハ有資格者四十九人（内女四人）外ニ兼務七人、無資格者二人アリ有資格教員ノ資格別ハ次ノ如シ（表中×ハ兼務、*ハ女子ナリ）

種別	西茨城郡	茨城立	新治	眞壁	菅組合	谷立	小村	瀨立	大子	銚子	田	江戸	奥村	野立	岡	田	結	城	計	
明治四十年文部省告示	×	1	×	4	2	—	1	×	1	×	1	×	1	1	—	—	—	2	×	11
二四八號第一該當者	×	3	5	4	*	4	2	—	—	—	3	3	*	2	—	2	—	4	×	32
全上第二該當者	×	1	—	—	—	—	1	—	—	—	*	—	—	1	×	—	—	—	×	1
文部大臣ノ認可ヲ受ケタル者	×	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
計	×	4	×	9	6	*	4	×	3	×	3	×	4	2	×	2	—	6	×	45

生徒訓育ニ就テハ各校多少ノ差異ナキニアラサレトモ執モ專ラ應用的才能ヲ修得セシメ勞働ヲ尙ハシムルコトニ努メツ、アリ學業成績ハ漸次良好ニ向ヘルヲ認ム

生徒實習及修學旅行ニ就テハ各校農蠶業ニ關スル相當ノ實習設備ヲ有シ訓育ト共ニ學理ヲ實地ニ應用セシメ專ラ技能ノ發達ヲ圖リ生徒ヲシテ實地ノ經驗ニ趣

味ヲ有セシムルニ努メタリ修學旅行ハ農業狀態視察ノ爲メ行ヒクルモノ四校ニシテ相當ノ効果ヲ收メタリ

學校ト實業トノ關係ハ益々密接ヲ加ヘ相互接近ノ機會ヲ多カラシムルコトニ注意シ、アリ

工業學校ハ縣立一校ニシテ其ノ設備ハ工業界ノ進歩ニ伴ヒ漸次整備ヲ計リツ、アリ

甲種程度ノ商業學校ハ縣立一校ニシテ其ノ設備ハ略ホ備ハレリ

乙種程度ノ商業學校ハ町立一校ニシテ其ノ設備ハ略ホ備ハレリ

縣立學校ノ教員ハ有資格者二十三人外ニ兼務二人、無資格者一人アリ有資格教員ノ資格別ヲ調査スレハ工業學校ニアリテハ文部大臣ノ指定シタル者八人、兼務一人、文部大臣ノ認可シタル者二人、商業學校ニアリテハ帝國大學分科大學卒業ノ者一人、兼務一人、文部大臣ノ指定シタル者十一人、文部大臣ノ認可シタル者一人ナリ
乙種商業學校ノ教員ハ有資格者四人、外ニ兼務一人、無資格者一人アリ有資格教員ノ資格別ヲ調査スレハ明治四十年文部省告示二四八號第一該當者一人、兼務一人、全上第二該當者三人ナリ

生徒訓育ニ關シテハ各校所定ノ校訓ニヨリ人格ノ修養ニ重キヲ置キ職員ハ協同一致訓化指導ヲ怠ラス徳性ノ涵養ニ努メタルヲ以テ生徒ノ學業ハ一般ニ良好ニ向ヒタリ

生徒實習及修學旅行ニ關シテハ工業學校ニアリテハ時局ニ最モ關係深キ應用化學科ヲ唯一トセルヲ以テ直接ニ其ノ影響ヲ蒙リシコト少ナカラサリシヲ以テ工業界ノ狀勢ニ鑑ミ生徒ノ實習ハ可成實際的ニ地方化セシメ一層學實ナル研究ヲナスノ氣風ヲ與ヘタリ商業學校ニアリテハ實習ハ第四學年生徒ニ同業法ト摸擬實踐トヲ併課シ實際的教材ニヨリ商業ノ狀勢ヲ知ラシムル方法ヲ採リ又校友會ノ一事業トシテ販賣部ヲ設ケ教員監督ノ下ニ學用品ノ供給ヲナシツ、アリ修學旅行ハ商工業狀況視察ノ爲メ第三四學年生徒ハ仙臺、山形、栃木、群馬、東京、關西地方ヘ第一二學年生徒ハ管内ヘ旅行ヲナシタリ

學校ト實業トノ關係ハ職員生徒ヲシテ力メテ實業家ニ接セシメ地方産業ノ狀況ヲ視察調査シ又機會アル毎ニ斯業界ノ名士ヲ招聘シテ講話ヲ請ヒタル等前年度ト異ナラス特ニ工業學校卒業生ノ如キハ供給不足ヲ告クルノ狀況ニアリ

別科程度ノ水産學校ハ一校ニシテ其ノ設備ハ略ホ備ハレリ

技藝學校町立四校ニシテ前年度ニ比シ一校増シタルハ設置シタルモノアルニヨル其ノ設備ハ十分ナラサルモ漸次完備ヲ圖リツ、アリ

乙種程度ノ教員ハ有資格者十三人、兼務四人、外無資格者四人アリ有資格教員ノ資格別ヲ調査スレハ次ノ如シ (表中×ハ兼務、*ハ女子ナリ)

種	別	若水	松産	潮子	女子	龍	ケ	崎	結	城	古	河	計
---	---	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---

明治四十八年文部省告示 全上第二該當者	×	1	×	1	*	1	*	2	*	2	×	2
	*×	3	*	1		1	×	1		2	×	1
		1									×	1
計	*×	3	*	1	*	1	×	1	*	2	×	3
		1						2		2	*	6
											*	1

生徒訓育ニ關シテハ各校共從來ノ方針ニ依リ一層其ノ徹底ニ努メ指導獎勵シツ
 ヲアリ生徒ノ學業ハ相當ノ方法ヲ講シ成績ノ向上ヲ圖リツ、アリ
 生徒實習ハ前年度ト大差ナク卒業後實地應用ノ材ヲ得シメソトヲ期シタリ
 實業ト學校ノ關係ハ一般當業者ト連絡ヲ圖リ夫々相當ノ方法ヲ講シタレハ其ノ
 關係漸次密接トナレリ
 實業補習學校ハ總數四百十三校(内十校授業休止)ニシテ農業三百八十九校、水産四校、商
 業八校、其他十二校アリ之ヲ前年度ニ比スレハ總數ニ於テ十七校ヲ増シタリ是等
 ハ孰モ概ネ市町村立小學校ニ附設シ教員ノ大部分ハ小學校ヨリ兼務シ農閑期又
 ハ夜間ニ於ケル季節教授ニシテ普通教育ノ補習ヲナスト共ニ斯業ニ適切ナル教
 授ヲ施セリ

各種學校

各種學校ハ私立四十五校(内七校授業休止)ニシテ前年度ニ比シ一校ヲ増シタリ而シテ授業
 休止中ノモノニハ廢校同様ノ姿ナルモノアリ其ノ設備ハ前年度ト大差ナク整備
 セサルモノハ少數ナレトモ相當ノ教員ヲ有シ教授ニ從事シツ、アレハ地方青年
 子女ノ受クル利益少ナカラサルヘシ學校維持方法ハ授業料及其他ノ收入及設立
 者ノ負擔金等ニヨルモノナリ

學校衛生

學校清潔法施行ニ關シテハ教育上最モ重要ノモノナレハ法規ノ定ムル所ニヨリ
 嚴重ニ勵行セシメ本年度ニ於テハ學校衛生技師ヲ置キ諸般ノ調査及施設等ニ一
 層意ヲ用ヒタリ又一方ニハ毎年定期ニ生徒兒童ノ身體検査ヲ施行セシメ其ノ成
 績ニ留意シ學校衛生ノ改善進歩ニ努メタリ

公立學校ニ學校醫ヲ設置シタルモノ小學校四百二十六校、師範學校二校、中學校六
 校、等高女學校六校、實業學校二十校、計四百六十二校ニシテ兼務ノ者多ク其ノ實人
 員ハ二百四十五人ニシテ約半數ニ過キス而シテ學校視察ノ狀況ハ中等程度ノ學
 校ニアリテハ佳ナルモ他ハ概シテ良好ナリト云フヲ得ス

學校醫實人員ヲ資格ニ依リ區別スレハ次ノ如シ

- 帝國大學醫科大學醫學科卒業ノ者 六人
- 元東京大學醫學部醫科本科又ハ別科卒業ノ者 九人
- 官立醫學專門學校醫科及元高等學校又ハ元高等中學校ノ醫學

部醫科卒業ノ者	六四人
大阪府、愛知縣醫學校及元府縣立甲種醫學校卒業ノ者	七人
東京帝國大學醫科大學國家醫學講習科修了ノ者	三人
醫術開業免狀ヲ有スル者	一五六人
計	二四五人

學校衛生ニ關シテハ常ニ嚴重ナル注意ヲ拂フヲ以テ生徒及兒童健康狀態ハ概シテ良好ナリ
 傳染病豫防ニ關シテハ平素一般ニ清潔ヲ重シ夏期其他衛生上注意ヲ要スル場合ニハ生徒及兒童ニ對シ講話ヲナシ之カ豫防ニ努メタリ
 本年度ニ於テハ師範學校ニ赤痢患者一名、太田中學校ニ腸窒扶斯患者一名ヲ出セルモ機ヲ失セス夫々適當ノ處置ヲ採リ其ノ學校ノ消毒ハ嚴重ニ施行セシヲ以テ他ニ蔓延セスシテ執モ全治シタリ

學校園學林及樹栽

學校園ノ施設ニ關シテハ夙ニ獎勵スル所ニシテ各學校ニ於テハ校舍ノ周圍ニ小規模ノ教材園ヲ設置スルモノ多ク教科用植物ハ勿論其ノ他各種ノ植物ヲ栽培シ教材ノ資料ニ供シ生徒及兒童ニ之カ手入ヲナサシメ又農業科加設ノ小學校ニ於テモ實習地ヲ設置スルモノ多ク之カ完備ヲ督勵シツ、アリ學林ノ設ケアルモノハ少數ニシテ山間部ニ於テ設置シアルモノハ其ノ成績稍可ナルモ他ハ未タ見ルヘキモノ少ナシ

教員講習會

講習會ハ縣ニ於テ開催セシモノ小學校教員ニ對シ体操科二回、理科一回、商業一回、此ノ延日數三十六日講習員二百二十人、聽講員六十人ナリ又小學校教員、中等教員、教育關係者ニ對シ歴史科ノ講習ヲ七日間開催シ講習員四十人、聽講員十一人ナリ縣教育會ニ於テハ小學校教員ニ對シ國定算術教科書ニ就テ五日間講習ヲ開催シ講習員二百十三人、聽講員七十二人ナリ郡市及教育會ニ於テ開催セシモノ三十七回此ノ延日數二百六日講習員四千五百三十五人ナリ孰モ相當ノ效果ヲ收メタリ

教科用圖書

教科用圖書ハ各校共適良ニシテ教授上著シキ支障ヲ來サス其ノ供給狀況モ概シテ適當ナリ

圖書館

圖書館ハ公立八、私立六、計十四ニシテ前年度ニ比シニ増セリ其ノ設備ハ縣立圖書館ノ外ハ整備セラルモノ少ナシ

縣立圖書館ノ藏書ハ和漢書六萬二千六百八十四冊、洋書三千四百八十六冊、計六萬六千七百七十冊ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ和漢洋書ヲ通シ三千五百七十五冊ヲ增加シタリ

本年度開館日數三百二十二日閱覽人員四萬四千五百四十人ニシテ開館一日平均百三十八人ニ當レリ之ヲ前年度ニ比スレハ開館日數ニ一日、閱覽人員ニ一萬二千七百六十五人、開館一日平均ニ三十九人ヲ增加シタリ又館外携出閱覽者ノ數ハ五萬七千八百六十人ニシテ前年度ニ比シ一萬五千四百五十七人ヲ增加シ巡回書庫ヲ久慈郡外十三郡ニ開設シ遠隔ノ者ノ便利ヲ圖レリ

本年度中閱覽ニ係ル圖書ノ部類ヲ其ノ多少ニヨリテ舉クレハ最モ多キハ文學ニ係ルモノ次ハ新聞、雜誌、理學、工學、醫學、歷史傳記地理紀行、教育社界家庭軍事經濟、美術諸藝遊戲ニ係ルモノ順次相亞キ産業、商業工業、法律政治統計哲學宗教ハ其ノ數少ナク閱覽人員ノ種別ハ學校生徒兒童多數ヲ占メ官公吏、教員、實業者、軍人等ナリ公私立圖書館ノ藏書ハ和漢書一萬二千四百十六冊、洋書三百十六冊、計一萬二千七百三十二冊ニシテ本年度開館日數ノ總計ハ三千百三十五日、閱覽人員ノ總數ハ一萬六千二百八十五人ニシテ一館ニ付一日平均閱覽人員ハ五人一分九厘ニ當レリ而シテ閱覽人員ハ學校教員、青年等ナリ

巡回圖書館公立六、私立七、計十三ニシテ其ノ藏書ハ和漢書一萬五千百十八冊、洋書二百八十二冊、計一萬五千四百冊ニシテ本年度開館日數ノ總計ハ三千六百七日、閱覽人員ノ總數ハ六萬九千五百八十八人ニシテ一館ニ付一日平均閱覽人員ハ十九人二分七厘ニ當レリ

教育品展覽會

郡及町村ニ於テハ二日乃至四日兒童ノ成績品、教授用參考品、教員意匠考案ニ成レル物品等ヲ陳列シテ公衆ノ觀覽ニ供シ學校ト家庭トノ連絡並向學心ノ振興ニ資シ併セテ將來教養上改良ノ參考ニ供スル所アリキ

教 育 會

縣教育會ハ縣下各郡市教育會ノ十五團體ヨリ成リ事業ノ重ナルモノハ尋常小學校准教員及裁縫專科正教員養成ノ爲メ常設講習會ヲ開催シ又教育視察員ヲ募集シ志願者中ヨリ二名ヲ選抜シ旅費ヲ給シ他府縣ノ學事ヲ視察セシメ其ノ他教員ノ講習、雜誌ノ發刊、通俗講話會、教育調查會、青年聯合大會等ヲ開催シ本縣教育上貢獻スル所尠ナカラス

郡市町村教育會ハ部内ノ教育關係者、有志ヲ以テ組織シ事業ノ主ナルモノハ教員ノ講習、講話會、學事視察、學齡兒童ノ保護等ニシテ地方教育ニ貢獻シツ、アリ

青 年 團 體

萬

青年團ハ縣下各市町村トモ之カ設置ヲ見サルナク其ノ會員約六七千八百餘ニ達セリ其ノ施設漸次整備セントス是等青年團體ニ於ケル施設事業ノ概要ヲ舉クレハ補習教育ノ普及、風紀ノ改善、体育ノ獎勵、公共事業ノ助成、産業ノ改良等地方政發ニ盡ス所尠ナカラス

教育ニ關スル法人

教育ニ關スル法人ノ現在數ハ前年度ト同シク社團法人六、財團法人一、計七ナリ

縣郡會及市町村會

各種教育ノ進歩ニ伴ヒ經費ノ増加スルハ自然ノ勢ナレトモ理事者ハ事ノ緩急ヲ計リ節約ノ趣旨ニ依リ提案スルヲ以テ縣郡會及市町村會ハ概シテ穩當ノ決議ヲナシ原案ニ協賛シ漫ニ削減ヲ加ヘサルノ狀況ナリ

學事關係職員學事視察

本縣學事係員ハ視學官一人、視學二人、屬四人、外ニ兼務一人、雇四人計十二人ナリ郡市學務係員ハ郡視學十四人、郡市書記二十一人(内兼務五人)ナリ

本年度學事視察ノ狀況ハ視學官、視學ハ專ラ學校ノ設備、教授訓練管理ノ良否並ニ教育事務ノ整否ヲ視察シ郡市ニ於テハ專任書記ヲシテ事務ニ當ラシメ視學ハ專ラ學校視察ニ從事シ逐年其ノ效果ヲ奏シツ、アリ

學事獎勵ヲナシタルモノヲ舉クレハ實科高等女學校、實業學校、盲啞學校、教育會等ニ對スル補助金交付、小學校教員住宅費補助、巡回圖書館補助、蠶學獎勵補助等前年度ト異ナラス又市町村ニ於テモ各種ノ方法ヲ設ケ就學及出席ヲ督勵シ優良兒童ノ表彰ヲナシタリ

將來學事施設上須要ノ件

- 一 貧困兒童保護ノ方法ヲ講シ就學出席ヲ一層獎勵スルコト
- 一 小學校教員ノ補充ヲ圖ルコト
- 一 實業補習學校ノ設置ヲ獎勵シ其ノ設備ヲ完全ナラシメ益々内容ノ改善ヲ圖ルコト
- 一 女子ノ補習教育ニ關スル施設ヲ獎勵シ益々普及改善セシムルコト
- 一 學校醫、學務委員ヲシテ一層活動セシムルコト
- 一 學校衛生思想ノ普及ニ力メ生徒兒童ノ體育ヲ發達セシムルコト

公學費及資産

本年度公學費支出總額百七十二萬五千九百三十二圓ニシテ内縣ニ屬スルモノ二十九萬八千七百三十七圓、郡ニ屬スルモノ三萬八千二百三十圓、市ニ屬スルモノ三

萬五千四百四十三圓、町村ニ屬スルモノ百三十五萬三千五百二十二圓ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ總額ニ於テ六萬四千四百五圓ノ増加ナリ又公學收入總額ハ二十八萬千五百十二圓ニシテ内縣ニ屬スルモノ九萬七千四百三十五圓、郡ニ屬スルモノ一萬千四百四十五圓、市ニ屬スルモノ六千六百五十四圓、町村ニ屬スルモノ十六萬六千二百七十八圓ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ總收入ニ於テ一萬九千七百七圓ノ増加ナリ而シテ以上ノ收入ハ孰モ支出ノ幾分ヲ補フニ過スシテ其ノ不足額ハ縣郡市町村ノ負擔ニ係ルモノナリ

學校基本財産ハ金額師範學校ニ千三百四圓、圖書館ニ七十七圓、市立學校ニ二千一百十三圓、町村立學校ニ三十五萬三千五百十圓計三十五萬三千八百四十四圓、土地二百四十七萬九千四百九十二坪ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ金額ニ於テ五萬七千六百三十一圓ノ増加ナリ土地ハ町村立ノモノ、ミニシテ二十三萬二千二百三十七坪ヲ減少シ外ニ積立金一萬八千三百十五圓アリ而シテ此等ノ金額ハ公債證書又ハ有價證券ヲ購入シ若ハ郵便貯金其他確實ノ方法ニヨリ利殖ヲ圖リ土地ハ概ネ植樹ヲナシ以テ將來ノ利益ヲ圖レリ

教 育 資 金

教育資金總計十七萬三千五百四圓八十四錢八厘ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ七百三十圓六十五錢減少シタリ而シテ本年度貸付ニ係ル金額ハ八萬七百圓ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ六千八百圓減少シタリ之レ校舍建築竣功ノ運ニ至ラサルモノアリシカ爲之レニ半額貸付ヲナササリシモノアリシニ因レリ又小學校衛生費トシテ三千三百四十五圓二十五錢ヲ支出セリ内醫員費千五百三十五圓二十五錢、教員疾病治療料千八百十圓此ノ給與人員十人ナリ又臨時部ニ於テ小學校教育及學齡兒童就學獎勵費四千八十八圓七十七錢、大禮記念教育參考館建築費一百二十六圓七十一錢ヲ支出シタリ

市町村立小學校教員加俸資金收支

市町村立小學校教員加俸資金總計十六萬二千六百二十七圓七十一錢ニシテ年功加俸俸支給金額六萬二千五百九圓十三錢特別加俸支給金額四千三百三十九圓五十七錢ナリ其ノ差引殘額九萬五千七百七十九圓一錢ハ翌年度ニ繰越シ公債證書、勸業債券ノ外ハ銀行ニ預ケ置ケリ其ノ給與シタル狀況次ノ如シ
年功加俸ヲ支給シタル本科正教員千七百十六人、專科正教員百二十六人、准教員二百二十三人、加俸令第七條第一項ニヨリ特別加俸ヲ支給シタル者二十五人、同第二項ニヨル者五十三人、同第三項及第四項ニヨル者九十人ナリ

公學費及資産等増減

公學費支出總額ヲ前年度ニ比スレハ縣ニ屬スルモノ一萬九千七百七十二圓増加シ

タルハ代用教員俸給、舎監手當、旅費生徒給費、借地借家費、新營費等ニ於テ減少シタルモ學校長俸給ヲ初メ其他ノ各費目ニ於テ増加シタルニ依レリ郡ニ屬スルモノ七百二十一圓増加シタルハ學校長俸給、書記俸給、學校醫手當、旅費、雜給、生徒給費、新營費、修繕費等ニ於テ減少シタルモ教諭助教諭俸給ヲ初メ其他ノ各費目ニ於テ増加シタルニ依レリ市ニ屬スルモノ三千二百三十三圓減少シタルハ代用教員俸給旅費ニ於テ増加シタルモ訓導俸給ヲ初メ其他ノ各費目ニ於テ増加シタルニ依レリ町村ニ屬スルモノ四萬七千七百四十五圓増加シタルハ准訓導俸給、舎監手當、書記俸給、旅費、新營費等ニ於テ減少シタルモ學校長俸給ヲ初メ其他ノ各費目ニ於テ増加シタルニ依レリ

公學收入總額ヲ前年度ニ比スレハ縣ニ屬スルモノ二千四百十圓増加シタルハ授業料、學校基本財産ヨリ生スル收入、雜收入、國庫補助等ニ於テ增收アリクルニ依レリ郡ニ屬スルモノ千三百八十七圓増加シタルハ授業料、雜收入、縣費補助、國庫補助等ニ於テ增收アリタルニ依レリ市ニ屬スルモノ百二十六圓増加シタルハ縣費補助、國庫補助ニ於テ減收シタルモ授業料、保育料、學校基本財産ヨリ生スル收入、雜收入等ニ於テ增收アリタルニ依レリ町村ニ屬スルモノ一萬五千七百八十四圓増加シタルハ授業料、保育料、寄附金學校基本財産ヨリ生スル收入、雜收入、郡費補助、縣費補助、國庫補助等ニ於テ增收アリタルニ依レリ

公學資産ハ敷地、附屬地八十三萬三千三百三十坪、建物十三萬三千四百三十四坪、敷地附屬地、建物其他ノ價額合計四百五十三萬二千六百八十八圓ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ敷地附屬地ニ於テ三萬三千八百六十九坪、建物五千六百六十九坪、敷地附屬地、建物、其他ノ價額合計ニ於テ三十二萬六千八百五十七圓ノ増加ナリトス今之ヲ縣郡市町村立學校ニ區別スレハ縣立ノモノ敷地附屬ニ増減ナク建物三百三十四坪、敷地附屬地、建物其他ノ價額合計ニ於テ三萬四千八百三十一圓増加シ郡立ノモノ敷地附屬地、建物ニ増減ナク敷地附屬地、建物其他ノ價額合計ニ於テ千三百六十九圓、市立ノモノ敷地附屬地、建物ニ増減ナク敷地附屬地建物其他ノ價額合計ニ於テ一萬五千三百三十九圓増加シ町村立ノモノ敷地附屬地三萬三千八百六十九坪、建物四千八百三十五坪、敷地附屬地、建物其他ノ價額合計ニ於テ二十七萬五千三百三十八圓増加シタリ之レ校地ノ擴張校舍ノ建築其他諸般ノ設備ニ改善ヲナシタルニ依レリ

學校基本財産ハ金額三十五萬三千八百四十四圓、土地ノ價額十六萬八千八百六十七圓ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ金額ニ於テ五萬七千六百三十一圓増加シ土地ノ價額二千六百三十八圓ノ減少ナリトス今之ヲ縣市町村立學校ニ區別スレハ縣立ノモノ八十六圓、市立ノモノ二百四十七圓町村立ノモノ五萬七千二百九十八圓執モ増加シタルハ利子ヲ蓄積シタルト特志者ノ寄附アルタルト學校基本財産蓄積ヲ獎勵シタルトニ依ル土地ノ價額二千六百三十八圓減少シタルハ精査ノ結果前年度分ニ誤謬アリシヲ發見シタルニ依レリ

市町村立小學校公立實業補習學校教員及公立幼稚園保母恩給基金總額十萬三百八圓五十九錢三厘ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ七千七百五十三圓五十四錢増加シタリ之レ市町村納金アリタルニヨル恩給ニ關スル收入ハ四萬七百七十六圓八十錢二厘ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ七千八百五圓七十二錢ノ増加ナリ之レ其他ノ收入金、前年度歳入剩餘金繰入ニ於テ減少シタルモ恩給基金利子、國庫給與金縣費補充ニ於テ増加シタルニ依レリ恩給ニ關スル支出ハ三萬九千三百五十二圓二十二錢此ノ人員四百二十八人ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ七千五百六十八圓二十四錢人員四十人ヲ増加シタリ之レ退職料ニ於テ五千六百二十三圓十五錢人員二十六人、扶助料ニ於テ四百二十八圓九十九錢人員五人、退職給與金ニ於テ千三百七十八圓二十五錢人員十人ヲ孰モ増加シ扶助金ニ於テ八百三十七圓七十五錢ヲ増加シタルモ人員一人ヲ減シタルニ依レリ

府縣立師範學校公立學校及公立圖書館職員國庫納金總額三千四百四十五圓五十八錢ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ百六圓六十九錢増加シタルハ正教員ノ増加シタルニ依レリ

公費支出總額ハ千五百四圓八十一錢此ノ人員十二人ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ八百八十二圓五十二錢人員六人ヲ減少シタリ今學校ノ種類ニヨリ區別スレハ師範學校ニ於テ三百八十二圓五十錢人員三人、公立中學校ニ於テ三百五十三圓五十錢ヲ減シ人員一人ヲ増加シ公立高等女學校ニ於テ二十圓五十錢人員二人、公立實業學校ニ於テ百二十六圓二錢人員二人ヲ減少シタルニ依レリ